事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報			事業番号	0370/5025	0370/502505/04/02		事業の類型		5
年度	19 事務事業名	青少年育成補助金事業		作成日	平成21年1月20日 重		重要度	4	
予算	事業名	青少年育成事業		担当部課名			生涯学習課		
政策	名	愛着と生きがいを	育むまちづくり	担当即歃石		•	工准于	日杯	
施策	名	青少年の健全育	成	実施計画への	記載	無	主要事	業の指定	無
根拠	法規及び関連法規								
事業	誰のために(具体 的に)	青少年及びその何	青少年及びその保護者						
兼の目	誰(何)を対象として	青少年及びその保護者							
的	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年のための生	生涯学習活動を推進する	ることにより、青少	◇年の傾	全育成	を図る		

2 事業の概要 Do

	実施の概要 青少年の団体に対し補助金を交付する						
`~	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画	
活 動	青少年芸術文化助成金	団体数	2	1	1		
実							
績							

3 投入	資源	会計区分	一般会計					事業費.	単位:円
インプット	指標	17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
人員	主幹以下職員	0.012	0.012	100.0	0.012	100.0	0.012	100.0	
	臨時職員			_		_		_	
	人件費	1,065,120	816,810	76.7	843,997	103.3	800,916	94.9	
支出内訳	事業費	1,180,000	445,000	37.7	395,000	88.8	165,000	41.8	
	合計	2,245,120	1,261,810	56.2	1,238,997	98.2	965,916	78.0	
	国庫支出金			_		_		_	
	県支出金			_		_		_	
財源内訳	市債			_		_		_	
水小水下了四人	その他			_		_		_	
	一般財源	2,245,120	1,261,810	56.2	1,238,997	98.2	965,916	78.0	·
	合計	2,245,120	1,261,810	56.2	1,238,997	98.2	965,916	78.0	_

4 評価指標 【有効性】

指標名1		青少年芸術文化	活動助成金						
指標説明	(式)	団体							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
団体数	目標	2		2 100.0	2	2 100.0		_	
四件数	実績	2		1 50.0	-	100.0			
	入根			. 00.0		100.0			
指標名2	人根								
指標名2 指標説明									
	(式)	17年度	18年度	前年比	19年度		20年度(計画)	前年比	備考
指標説明	(式)	17年度	18年度		19年度		20年度(計画)	前年比	備考

【効率性】

指標名1		青少年芸術文化助成金								
指標説明	(式)	助成金÷団体数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考	
円	実績	500,000	250,000	50.0	200,000	80.0		_		
	八根	000,000	200,000	00.0	200,000	00.0				
指標名2	八根	000,000	200,000	00.0	200,000	00.0				
		330,000	200,000	00.0	200,000	00.0				
指標名2	(式)	17年度	18年度	前年比			20年度(計画)	前年比	備考	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	次世代を担う子供たちの秘められた才能を見つけ、さらに伸ばしていく。	4	4
ДЭЦ	市の関与の妥 当性	子供に対する教育・健全育成は社会要請であり、必要不可欠である。	٠	7
有効性	T 255 TIII	少子化や団体加入に対する意識の変化等により、団体の会員数は減少傾向に あるが、青少年健全育成のための事業を支援することは必要である。	4	4
	期待する目標	様々な事業を展開することで、青少年の健全育成・地域の活性化に寄与している。	†	7
効率性	コストの節減	限度額の見直しを行った。	4	4
が 年 圧			4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	同じ団体への助成となっている。

7 事業の改革改善 Action

(1)評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

\	山木と叫みたた	0个及000年以日刊台
評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	手段の最適性	新たな団体を育成し、芸術文化活動を活発にし芸術文化 意識の向上に努める。
H19→H2	20予算反映額	



(2)20年度の実施方針

市内文化団体の活性化と新たな団体の育成のため、助成対象を青少年を含む全ての社会教育団体とし、芸術文化の振興を図る。

検討の有無	_
総合指標	22